

プログラム

開会挨拶 9:55～10:00 第1会場

大会長 渡辺 宏久(藤田医科大学医学部 脳神経内科学)

特別講演 10:00～10:50 第1会場

「パーキンソン病患者における摂食嚥下訓練」

座長: 巨島 文子(諏訪赤十字病院 リハビリテーション科)

演者: 稲本 陽子(藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科)

教育講演 10:50～11:20 第1会場

「嚥下の外科治療 –いつ、どのように手術に踏み切るか？」

座長: 堀口 利之(横浜市立大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

演者: 藤本 保志(愛知医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

大会長講演 11:20～12:00 第1会場

「エネルギーに着目した神経変性疾患の治療法開発」

座長: 清水 俊夫(東京都立神経病院 脳神経内科)

演者: 渡辺 宏久(藤田医科大学医学部 脳神経内科学)

ランチオンセミナー1

12:10～13:00 218号室

座長:島 さゆり(藤田医科大学医学部 脳神経内科学)

「全身型重症筋無力症の治療の変遷と現在の最新治療」

演者:植田 晃広(藤田医科大学 岡崎医療センター 内科学 脳神経内科)

「当院における重症筋無力症に対するウイフガートの使用経験」

演者:杉浦 真(安城更生病院 高齢福祉事業部／介護老人保健施設)

【共催:アルジェニクスジャパン株式会社】

ランチオンセミナー2

12:10～13:00 221号室

「多発性硬化症」

座長:渡辺 宏久(藤田医科大学医学部 脳神経内科学)

演者:清水 優子(東京女子医科大学 脳神経内科)

【共催:バイオジェン・ジャパン株式会社】

教育講演 13:15～13:45 第1会場

「摂食嚥下障害患者に対するオンライン診療」

座長:梅崎 俊郎(福岡山王病院 音声・嚥下センター)

演者:野崎 園子(関西労災病院 脳神経内科)

良く分かる脳神経内科疾患の診方1 13:45～14:15 第1会場

「多系統萎縮症」

座長:山脇 正永(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
臨床医学教育開発学分野)

演者:伊藤 瑞規(藤田医科大学 脳神経内科)

藤田医科大学 ばんたね病院 脳神経内科)

良く分かる脳神経内科疾患の診方2 14:15～14:45 第1会場

「進行性核上性麻痺」

座長:下畑 享良(岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野)

演者:饗場 郁子(国立病院機構東名古屋病院 院長／脳神経内科)

良く分かる脳神経内科疾患の診方3 14:45～15:15 第1会場

「筋萎縮性側索硬化症」

座長:市原 典子(国立病院機構高松医療センター 院長)

演者:熱田 直樹(愛知医科大学 神経内科)

シンポジウム

15:30～17:30 第1会場

「実践！摂食嚥下・栄養ケアハンドブック：

より良い栄養管理・嚥下摂食リハを目指して」

座長：平野 牧人(近畿大学医学部 脳神経内科)

梅本 丈二(福岡大学病院 摂食嚥下センター)

1「患者や家族の思いに近づく食支援 –「少しでも長く口から味わう」ために–」

演者：臼井 晴美(国立精神・神経医療研究センター病院 看護部)

2「在宅、口腔への介入、新たな機器の紹介」

演者：戸原 玄(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

摂食嚥下リハビリテーション学分野)

3「神経筋疾患の摂食嚥下リハビリテーションの実践」

演者：國枝顕二郎(岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野

浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション科)

4「摂食嚥下のコンサルタントナースとしての取り組み」

演者：西 依見子(Taste & See)

一般演題(口演) 13:45~16:40 第2会場

「パーキンソン病」 13:45~14:25

座長:大塚 義顕(国立病院機構千葉東病院 歯科)

1「パーキンソン病の人の経口摂取希望に対する
多職種連携における歯科の関り」

演者:亀井 智子(富田歯科)

2「胸郭伸張法を施行したパーキンソン病の一例
～甲状腺癌術後の嚥下障害へのアプローチ～」

演者:中村 和明(諏訪赤十字病院 リハビリテーション科部 理学療法課)

3「ATXN80S 遺伝子変異を認めたパーキンソン病 3 例の嚥下機能」

演者:磯野 千春(近畿大学病院 リハビリテーション部)

4「パーキンソン病の口腔期・咽頭期の嚥下機能と認知機能の関連」

演者:浅野 友梨(東京都立神経病院 脳神経内科)

5「DBS 断線と嚥下障害を認めたパーキンソン病の一例」

演者:慕 健(埼玉県総合リハビリテーションセンター)

「ALS、脊髄小脳変性症」 14:30~15:10

座長:清水 充子(埼玉県総合リハビリテーションセンター 言語聴覚科他)

6「誤嚥性肺炎を繰り返した進行期 CANVAS の一例」

演者:佐藤 恒太(脳神経センター大田記念病院 脳神経内科)

7「当院神経内科一般病棟において NST 介入を行った ALS 症例の検討」

演者:星野 江理(埼玉精神神経センター NST/脳神経内科)

8「気管切開・人工呼吸療法中の ALS 患者では
高血糖だけでなく低血糖も来しやすい」

演者:木田 耕太(東京都立神経病院 脳神経内科)

9「Floppy epiglottis を呈した多系統萎縮症に対する嚥下リハの経験」

演者:石田麻紀子(東京逡信病院 リハビリテーション科)

10「多系統萎縮症における dysphagia severity scale と臨床スコアとの関係」

演者:長尾龍之介(藤田医科大学病院 脳神経内科)

「その他の神経障害」

15:15～15:55

座長:金藤 大三(介護老人保健施設 いなば幸朋苑 施設長)

11「経鼻経管栄養チューブの留置が声門閉鎖を補助した

甲状腺乳頭癌術後左反回神経麻痺」

演者:田積 匡平(岡崎市民病院 栄養サポート室)

12「経口での食事摂取が可能且つ消化管の短縮を認めないも、

セレン欠乏症発症した成人例」

演者:荒畑 創(NHO大牟田病院)

13「脊髄小脳萎縮症 31 型関連領域にリピート伸長を認めた

難治性重症筋無力症 2 例の嚥下評価」

演者:寒川 真(近畿大学医学部 脳神経内科)

14「緩徐な回復経過を辿り、

経口摂取再開に長期的対応を要したギランバレー症候群の 2 例」

演者:山田 健介(社会医療法人福西会 福西会南病院 リハビリテーション科)

15「早期からバルーン拡張引き抜き法を併用し、

高度嚥下障害が比較的短期間で改善した延髄外側梗塞の 1 例」

演者:坂口 幹(藤田医科大学病院 脳神経内科学)

「神経疾患の嚥下機能評価・対応」

16:00～16:40

座長:二藤 隆春(埼玉医科大学 総合医療センター 耳鼻咽喉科)

16「当院の嚥下調整食の取組みについて」

演者:石井 桃香(大牟田病院 栄養管理室)

17「在宅介護支援における食事や栄養管理に関する調査」

演者:芝 浩伸(阿南医療センター 患者支援センター)

18「入退院支援室での嚥下機能評価」

演者:林 雅子(藤田医科大学 ばんだね病院)

19「神経変性疾患の窒息予防における

喀痰吸引処置の実態と窒息ハイリスク患者」

演者:富田 聡(国立病院機構宇多野病院 臨床研究部/脳神経内科)

20「パーキンソン病の体脂肪量減少と血漿中代謝物変化が示す

脂質エネルギーシフトの可能性」

演者:東 篤宏(藤田医科大学医学部 脳神経内科学)

閉会挨拶

17:30～

第1会場

優秀演題表彰

次期大会長挨拶 戸原 玄

(東京科学大学大学院 摂食嚥下リハビリテーション学分野)

大会長 渡辺 宏久(藤田医科大学医学部 脳神経内科学)